

船舶事故等調査報告書

平成27年2月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第91号
事故等種類	転覆
発生日時	平成26年10月15日 05時00分ごろ
発生場所	宮城県気仙沼市蔵内漁港東方沖 気仙沼市所在の蔵内港弁天島防波堤仮設灯台から真方位090° 100m付近 (概位 北緯38°45.2′ 東経141°31.9′)
事故等調査の経過	平成26年10月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 第七福善丸、0.8トン
船舶番号、船舶所有者等	MG3-46974（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	船外機が濡損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、蔵内漁港東方沖を漁場に向けて航行中、平成26年10月15日05時00分ごろ転覆した。 船長は、海に投げ出され、転覆した本船の船外機につかまっていたところ、後から出漁した僚船の船長に05時30分ごろ発見され、同船に救助された。 本船は、別の僚船にえい航され、蔵内漁港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 1、視界 良好 海象：うねり 波向北東、波高約3.0m、潮汐 上げ潮の中央期、海面水温 約18～21℃ 日出時刻：05時42分ごろ 平成26年台風19号は、10月14日、東北地方南部を通過して三陸沖に抜け、温帯低気圧になっており、本事故時、気仙沼市には、波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	本船は、和船型で船外機を備えていた。 船長を救助した僚船の船長は、出漁前に波の状況を見たところ、うねりがあり、白波も立っていたので、波の状況を見ながら航行できるよう、明るくなってから出漁した。 海図W1047によれば、本事故発生場所付近の水深は、5m以下である。 船長は、救命胴衣を着用していた。

<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 なし あり</p> <p>本船は、蔵内漁港東方沖を航行中、転覆したものと考えられるが、船長から情報が十分に得られなかったため、転覆に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、夜間、本船が、蔵内漁港東方沖を航行中、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風の通過などにより、波浪の強まりが予想される場合には、波浪の状況を確認できるよう、明るくなってから出港すること。</li> </ul>